



# うさぎのぴょん！（ほん）



## うさぎの町の殺人

周木 律 著 実業之日本社

野生のうさぎが放し飼いになっている不思議な町で次々と起こる不可解な自殺偽装殺人。最後の最後に伏線のなぞが解ける！（Fシュ）

## 昔話法廷 season 1

NHK・Eテレ「昔話法廷」制作班 編  
金の星社

カチカチ山のおばあさんを殺したタヌキに対し仇討をしたウサギは、はたして実刑か？執行猶予か？さあ、あなたならどう裁きますか（Fムカ）

## うさぎパン

瀧羽 麻子 著  
メディアファクトリー

パン好きの高校生と、そのまわりにいる人達とのちょっと不思議なファンタジー。最後にうさぎにまつわるエピソードで胸がジーンと熱くなります。（Fタキ）

## ベストリーダー～2022～



2022年に多賀図書館で貸出が1番多かった本です。

### 一般書部門

「沈黙のパレード」  
東野圭吾 著 文藝春秋 2018年

### 児童書部門

「ポケモンをさがせ！金銀」  
相原和典 画 小学館 2001年

「はらぺこあおむし」  
エリック＝カール 著 偕成社 1989年

## 図書館員のおすすめ本

### 「赤と青とエスキース」

青山 美智子 作/PHP 研究所/2021年

「エスキース」と名付けられた絵にまつわる短編集。ひとつひとつの物語も面白いのですが、後半の伏線回収に驚きます！！  
少しせつなく、だけど温かい気持ちになり、もう一度読みたくなる小説です。

（図書館員ふわHOPE）

### 「日本の祝日と歳事の由来」

生方徹夫 著/モラロジー道德教育財団/2021年

祝日や季節の行事をひも解き由来を知ると、自然と関わりながら積み重ねてきた生き生きとした日本人の暮らしが見えてくる。現代の私たちの暮らしに取り入れたい知恵がたくさん！  
豊富なビジュアルで、目でも楽しめる一冊。

（図書館員ふわらにあん）

## 館長のひとこと



先日、多賀図書館おはなしボランティアのSさんからお誘いを受け、朗読劇を見に行ってきました。浪曲「清水の次郎長」を朗読するというもので、今回の演目はみんな大好き「森の石松」！

こうした朗読劇についてあまり知識のなかった私でしたが、その面白さに驚かされました。特に、日本語の美しさや歯切れのよい特有のリズムなど、大いに堪能し、楽しむことができました。

図書館では、子どもを対象としたおはなし会を毎月数回実施しています。こうした催しは、子どもの読書に対するインセンティブになっていると思います。一方で大人の読書はどうでしょうか。

成長するにしたがって、本や読書から離れてしまった大人たちが、もう一度日本語のすばらしさや物語の面白さに気づいてくれるきっかけの一つとして、こんな朗読イベントを図書館でもやれたらなあ・・・。

私の初夢でございます。（S館長）